

災害時の避難を考える (4回シリーズ)

開講式

第1回

災害復興とコミュニティ

コード：25F05

9月17日(水) 10:00~12:00

近年、大規模災害が頻発しており、そのために地域コミュニティを単位として防災・減災の推進が求められています。ただし、現代社会はあらゆる面で流動化が進む社会です。今回は「移動」という面から、防災・減災に向けた取り組みの課題について考えます。



講師

尚絅学院大学
社会部門
教授

高木 竜輔

第2回

災害時の食事

9月17日(水) 13:30~15:00

コード：25F06

災害時に多くの方が生活する避難所では、調理施設や食材が限られていることで食事に関する様々な問題が発生します。災害時の避難所の食事を担当した経験から、長期避難と栄養不足の問題、仮設住宅の食環境問題、自宅に戻られてからの食生活管理など食生活に関連した様々な情報をお話します。また、日々の暮らしの中で、食品の備蓄について、各自でチェックするなど演習も含めた内容になります。



講師

尚絅学院大学
客員教授

高橋 睦子

第3回

学校避難所

9月18日(木) 10:00~12:00

コード：25F07

近年、地震はもとより、集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れなど居住地近くの災害の発生が、より心配されるようになってきました。総合防災訓練などを通じて周知が図られてはいますが、避難所開設にあたって混乱が生じる状況もあるようです。そこで、学校に避難する際に留意すべき点について、ハザードマップや避難所で実際に使用されている備品や器具を確認し、マイ・タイムラインシートを作成することで、みなさんと共に考えていきたいと思います。



講師

尚絅学院大学
教育部門
教授

五十嵐 誓

第4回

避難所運営ワークショップ

閉講式

コード：25F08

9月18日(木) 13:30~16:00

災害時の避難所運営を疑似体験する演習を行います。避難所での「困った問題」を避難所運営委員会のメンバーになったつもりで、対処方法を考えていきます。災害時の場面が自分にも起こりうることでリアルにイメージすることのできる機会となります。また、被災者の権利と被災者支援の最低基準を定めた国際基準である「スフィア基準」について説明します。



講師

尚絅学院大学
社会部門
教授

渡邊 千恵子

会場：尚絅学院大学 多目的ホール(名取市ゆりが丘4-10-1)

定員：各回50名 受講料：無料(要申込)

▶申込期間：2025年8月1日(金)~9月1日(月) ※受付期間前の申込は無効

▶申込方法：インターネットからお申込が可能な方は、右の二次元コードを読み取ってください。

E-mail:kouza@shokei.ac.jp /FAX:022-302-6155 の場合は以下をご記入の上、お送りください。

- ①参加希望講座名とコード ②氏名(フリガナ) ③性別 ④生年月日
- ⑤郵便番号・住所 ⑥電話番号 ⑦メールアドレス ⑧職業 ⑨申込理由

※実施内容は、中止・変更となる場合がございます。予めご了承ください。

↓申込はこちら



お問い合わせ先

尚絅学院大学長町サテライトプラザ(仙台市太白区長町5-3-1 たいはつくるイオプラザ1階/営業時間10:00~18:00)

電話:022-302-6145 FAX:022-302-6155 E-mail:kouza@shokei.ac.jp

主催:宮城県教育庁生涯学習課

実施機関:尚絅学院大学